

平成 27 年度日本医療研究開発機構研究費 医薬品等規制調和・評価研究事業
「ヒト iPS 分化細胞技術を活用した医薬品の次世代毒性・安全性評価試験系の開発と国際標準化に関する研究」研究班／第 3 回 心臓安全性に関するシンクタンクミーティング 2016 合同公開シンポジウム

次世代心臓安全性評価の統合的理解
－ICH ガイドライン S7B/E14 の改訂に向けた国際協調－

QT 延長を指標とするこれまでの医薬品の心臓安全性評価を見直す動きの中、臨床試験と非臨床試験の統合的な催不整脈リスク評価データが蓄積されてきた。現在、国内外において ICH ガイドライン S7B/E14 の改訂に向けて具体的なプランが計画されているところである。本シンポジウムでは、次世代心臓安全性評価に関する国内外の動向とともに最新の研究成果を紹介する。

日時：2016 年 2 月 18 日(木)

開場 12:30 開演 13:30-18:00

会場：東京大学弥生講堂 一条ホール

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

参加費無料《申し込み不要》

(受付にて名刺を頂くか又は参加者名簿に記名をお願い致します)

主催：「ヒト iPS 分化細胞技術を活用した医薬品の次世代毒性・安全性評価試験系の開発と国際標準化に関する研究」研究班

Japan iPS Cardiac Safety Assessment (JiCSA)

霧島会議運営委員会

協賛：日本安全性薬理研究会

【お問い合わせ先】

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 薬理部

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1

Tel. : 03-3700-9692

Fax. : 03-3700-1452

担当：関野 祐子、諫田 泰成

プログラム

総合司会 山崎 大樹 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

13:30～ 開会の辞

関野祐子(国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

セッション 1:国内動向

座長:中谷 晴昭 (千葉大学理事・副学長)

諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

13:35～ 「ヒト iPS 細胞由来分化心筋細胞を用いた非臨床試験法開発の展望:JiCSA の取り組み」

関野 祐子 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

13:45～ 「催不整脈リスク分類法の提案～ヒト iPS 細胞由来心筋細胞及び多点電極測定システムを用いた
60 化合物評価結果からの考察」

吉永 貴志 (エーザイ株式会社 グローバル CV 評価研究部)

14:25～ 「ヒト iPS 細胞由来の成熟心筋細胞の作製と標準化に向けた次世代評価法の開発」

諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

15:05～ 「心臓シミュレータ UT-Heart を用いたマルチイオンチャンネルに対する網羅的な心電図データベースの作成と応用」

岡田 純一 (東京大学大学院新領域創成科学研究科, 株式会社 UT-Heart 研究所)

15:45～ 休憩

セッション 2:国際動向

座長:杉山 篤 (東邦大学 医学部 薬理学)

黒川 洵子 (東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生体情報薬理学分野)

16:05～ 「Cardiovascular safety risk assessment for new candidate drugs」

William S Redfern (AstraZeneca, Drug Safety & Metabolism)

16:45～ 「Update and Critical Appraisal of Current and Future Trends in Cardiac Safety Assessments」

Mendzelevski Boaz (BioClinica)

17:25～ 閉会の辞

川西 徹(国立医薬品食品衛生研究所 所長)